

## 人工透析の患者向けの米

# 知事、政府会議で活用提言へ

泉田知事は6日、自身が委員を務める政府の中央防災会議で、長岡市の米穀販売会社「エコ・ライス新潟」が開発した人工透析の患者も食べることが出来る非常食「はんぶん米」の活用を提言する方針を決めた。

「はんぶん米」は、2004年の中越地震で同社の社員が避難所生活を送り、高齢者や食事制限のある患者向けの非常食が備蓄されていないことを知って開発した。通常消化できる半分程度のたんぱく質しか含ま

れないアルファ米が原料。

「はんぶん米」は東日本大震災以降、全国の各自治体が備蓄に向けた動きを進めている。知事は国に備蓄を働きかけ、米の需要喚起にもつなげたい考え。